



【教育目標】 小樽の未来をつくる北陵生の育成  
【重点】 「15の春をみんなで考えよう」 ～小中一貫教育の継承と進化～

## (1) 令和8年度学校経営方針について

2月20日(金)に第4回学校運営協議会が開催されました。会議の中では、校長先生より令和8年度の学校経営方針が示されました。現状の課題として「先を見通す力」と「思いやり」の育成を掲げ、学習指導と生徒指導を一体化させた授業づくりに注力していく方針が説明されました。また、昨年度と比較して問題行動が減少し、教職員と生徒の関係も良好に推移しているなど、今年度の成果についても報告がありました。

## (2) 第4回学校運営協議会の中で頂いたご意見や質問事項等

### ①意見

- ・2学期実施した芸術鑑賞(東京佼成ウィンドオーケストラの演奏)は大変すばらしかった。今後も継続してほしい。
- ・危機管理において想像力を働かせることは重要・大切である。特に思春期に危機管理能力を身につける指導をしてほしい。
- ・中学生であるこの時期を楽しんでほしい。そして何事も挑戦(チャレンジ)できる生徒を育成してほしい。
- ・授業がわかる生徒を増やし、学力を伸ばしてほしい。
- ・「授業がわからない」、「人間関係で悩んでいる」などさまざまな理由で学校に来ることができない生徒もいるが、子ども一人ひとりを大切にしたい指導や生徒の選択肢を広げる指導を継続してほしい。
- ・地域でも通学路の見守り活動は続けるが、冬の登下校や空き家の落雪などの危険があるので、学校でも引き続き登下校指導をしてほしい。
- ・今年度は通学路であいさつしてくれる生徒が多くなった。
- ・豊川町では大雪で歩道の幅が小さくなる、またはなくなってきた。地域でも歩道の除雪を行ったり、見守り活動を行ったりしているが限界があるので、注意喚起してほしい。

### ②質問事項

- ・別室に登校している生徒への支援はどうしているのか？
- ⇒今年度から加配事業の一環でサポートルームを設置し、専任教員を中心に学習サポートを行っている。毎日3人程度別室で学習に取り組んでいる。また、学校に来ることはできないが、自宅等で学習したい等の希望生徒にはオンライン授業を取り入れるなどの学習支援を行っている。

